

平成26年10月31日

教育委員会定例会報告書

草津市教育委員会

報告事項

- (1) 定期監査の結果について
- (2) 平成26年度全国学力・学習状況調査の結果公表について
- (3) 寄付受入れ報告について



監発第372号

平成26年9月30日

草津市教育委員会委員長 様

草津市監査委員 平井 文雄

草津市監査委員 西田 剛

定期監査結果報告の提出について

地方自治法第199条第4項の規定による定期監査を実施し、同条第9項の規定により監査の結果に関する報告を決定したので、別紙のとおり提出します。

記

監 査 期 日	監 査 対 象 機 関
平成26年6月30日	学校給食センター

定期監査結果報告書

監査対象機関	監査実施期日	対象年度	監査委員
学校給食センター	平成 26 年 6 月 30 日	平成 25 年度	平井 文雄 西田 剛

1 監査対象とした事務事業

(1) 管理運営費

2 監査の結果

(1) 管理運営費

平成 25 年度より、新たに稼働した学校給食センターで市内 13 小学校、対象者 8,071 人（平成 25 年 5 月 1 日現在）に対して学校給食の提供に努められた。新センターでは「学校給食衛生管理基準」で導入が推奨されているドライシステムを採用され、高い衛生水準および品質管理を充実させた調理施設環境を実現されている。その中で、自所炊飯（100%草津市産米コシヒカリ使用）を実施されており、地産地消率は品目別で 35.85%となっているが、野菜については数量や品質、価格面で多くの課題が残っている。

学校給食調理・洗浄等業務（自所炊飯業務、副食の調理加工、学校別配送・回収、洗浄、消毒他）、給食センター機械設備管理業務などを、民間業者に委託して実施された。

学校給食費の収納については、生活保護制度・就学援助制度からの振替充当の徹底を図られた結果、未納額が減少し平成 25 年度現年度分収納率は 99.94%（未納額 213,384 円）となっている。

なお、学校給食への理解と食育を推進されるため、保護者や一般市民対象に給食センター見学会を不定期に開催され、年間 18 回 459 人の参加があった。

事務の執行状況については概ね適正に執行されており、財務処理についても適正に処理されていると認められた。

なお、一部に改善、検討を要する事項が見受けられたので、今後より適正で有効かつ効率的な事業執行に取り組まれない。

【意見・指摘事項】

(1) 管理運営費

- ① 草津市学校給食調理・洗浄等業務について、仕様書に記載されている業務内容の確認等に一部不備が見られたので改善されたい。
 - ◇ 学校別残渣報告
 - ◇ 調理従事者及び従業員等の資格・業務経験年数等
 - ◇ 各種届出書の受付事務
- ② 賄材料費の支払調書に添付されている検査調書（1件30万円以上）のありかたについて、事務改善の観点から関係課と協議調整されたい。
- ③ 地産地消の推進について、地場産物である野菜の調達は多くの課題があるものの、生産者や農協など関係者と協議研究され、地産地消率の向上に取り組まれたい。

平成 26 年度全国学力・学習状況調査結果公表

草津市教育委員会事務局学校教育課



◆平成 26 年 4 月 22 日（火）に実施されました「全国学力・学習状況調査」の草津市全体の結果をお知らせします。

1 教育の改善のための調査です

◎児童生徒の全国的な学力や学習状況を把握し、分析して、教育に対する施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

◎学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。

2 市立小・中学校で実施

◎対象校

市立の全小・中学校

◎対象学年

小学校 6 年生（1,174 人）

中学校 3 年生（1,008 人）

◎実施教科等

ア 教科に関する調査
〔国語、算数・数学〕

イ 質問紙調査

ウ 学校の取組に関する調査

3 5種類の調査を実施

国語 A・算数（数学） A

「主に知識に関する問題」

それぞれの教科の基礎的な知識や技能が身についているかを確認する問題。

国語 B・算数（数学） B

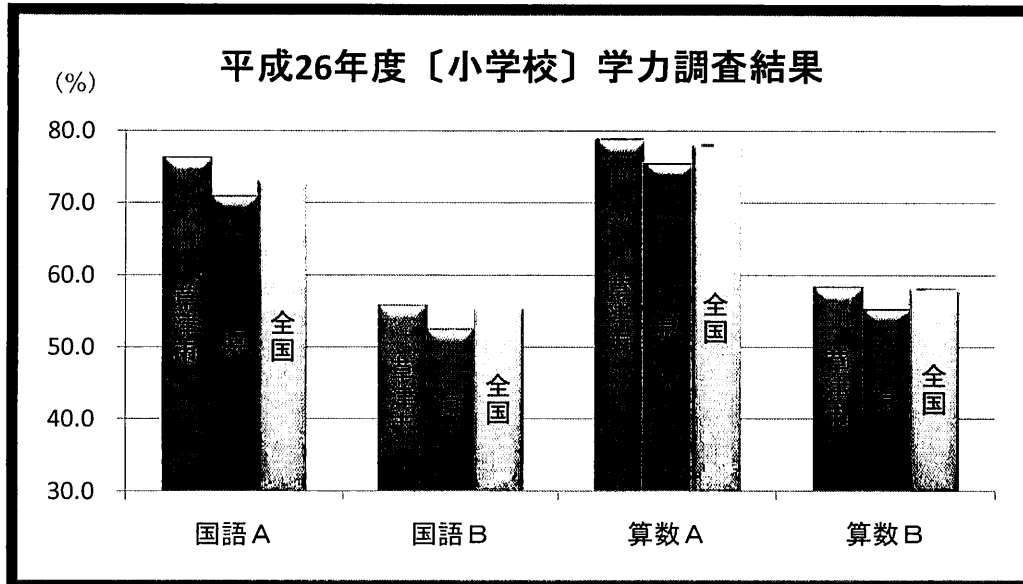
「主に活用に関する問題」

それぞれの教科の知識や技能を生活の場面で活用したり、課題解決のために構想を立てて実践したりする力が身についているかを確認する問題。

児童生徒質問紙

子どもの学習意欲や学習方法、学習環境や生活に関する調査。

教科に関する調査結果 ～正答率（％）の全国平均・県平均との比較～

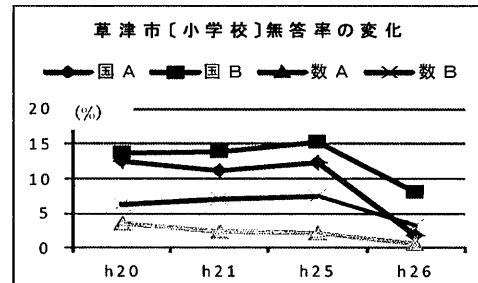


がんばった点

◎基礎基本が定着

- ・漢字の読み書き全6問の
平均正答率→85.8%
(3問が90%超)
- ・計算問題全6問の
平均正答率→88.8%
(4問が90%超)

◎無答率が大きく減少



※H22, H24 は抽出調査のため省略

※H23 は東日本大震災のため実施されませんでした。

これからがんばる点

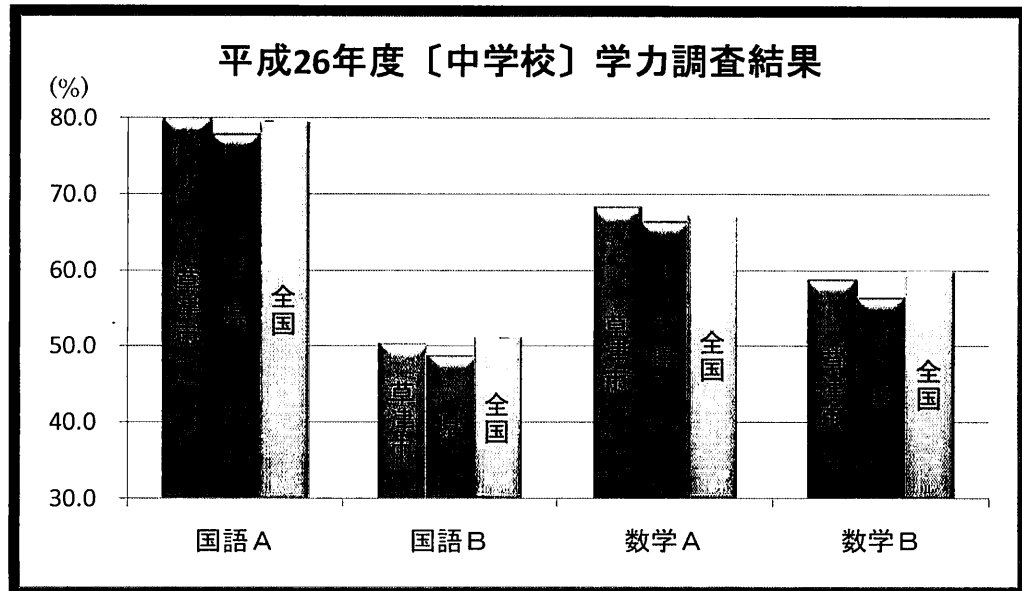
◎国語は、「条件に合わせて書く力」が課題

→「80～100字以内に指定された語句を使って答えよ。」といった問題に正確に答えることがやや苦手です。

◎算数は、規則性を見つけたり、答えのわけや求め方を文章で説明したりすることが課題

→答えを出すまでの道筋を理解し、文章で書くことがやや苦手です。

教科に関する調査結果 ～正答率(%)の全国平均・県平均との比較～

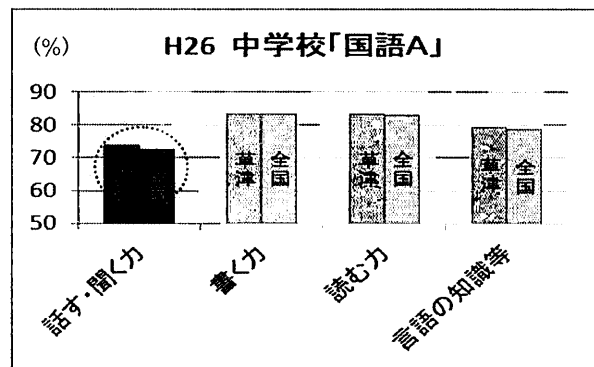


がんばった点

◎基礎基本が定着

- ・漢字の読み書き全6問の
平均正答率→78.3%
(全国平均より3.1ポイント上)
- ・計算問題全6問の
平均正答率→80.1%
(全国平均より2.7ポイント上)

◎国語では「話す・聞く力」等が高い。



▲「国語で身に付ける力」別全国比グラフ

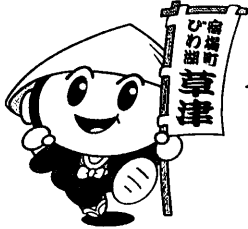
これからがんばる点

◎国語は、「読み取ったことを要約して書く力」が課題

→複数の資料の必要な部分を見つけることはできるのですが、要約するのがやや苦手です。

◎数学は、「数学を実生活に結びつけて考える力」が課題

→忘れ物をした弟を追いかける兄との距離を問う問題、校舎に横断幕を取り付ける場合の適切な位置を求める問題等、複数の条件を実生活に結びつけて考えることがやや苦手です。



児童生徒質問紙（小・中学校共通の74項目）で草津市の平均が全国の平均より「高い項目（5項目）」と「低い項目（3項目）」を取り上げました。

小学校	高い項目（5項目）
	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 「今住んでいる地域の行事に参加している」 ◎ 「友だちの前で自分の考えや意見を発表することは得意だ」 ◎ 「学校の授業以外に普段1日2時間以上勉強する」 （学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間を含む） ◎ 「学校が休みの日に1日3時間以上勉強する」 ◎ 「学校のきまりを守っている」
	低い項目（3項目）

	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「家で学校の授業の復習をしている」 ■ 「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る」 ■ 「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」
--	--

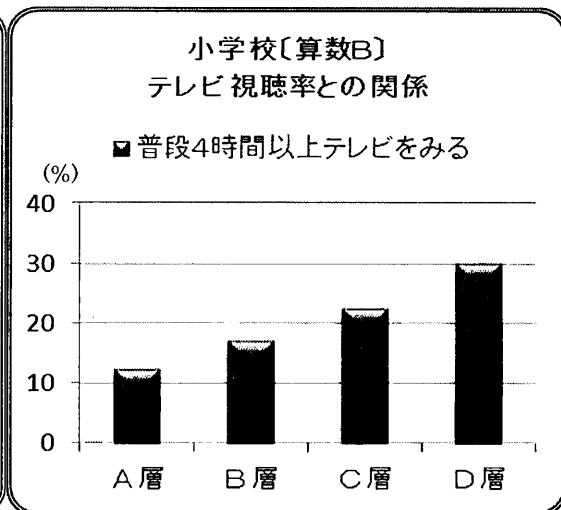
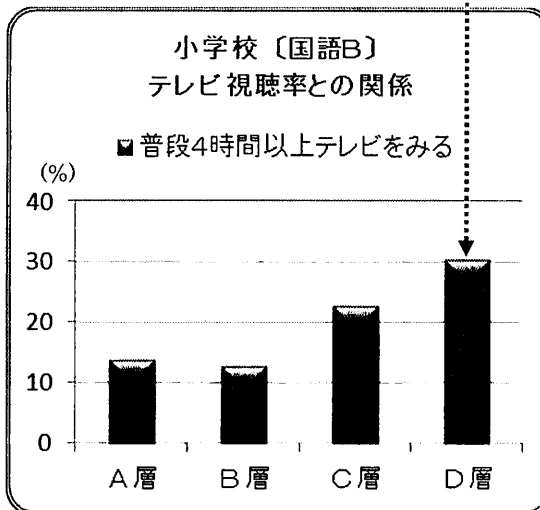
中学校	高い項目（5項目）
	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 「家で学校の授業の予習をしている」 ◎ 「学校に行くのは楽しいと思う」 ◎ 「学校の授業時間以外に普段1日2時間以上勉強する」 （学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間を含む） ◎ 「今住んでいる地域の行事に参加している」 ◎ 「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る」
	低い項目（3項目）

	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う」 ■ 「家で学校の授業の復習をしている」 ■ 「家の人は授業参観や運動会などの学校行事に来る」
--	---

- ◆小中学校別に草津市の受験者全体を正答率の高い順に並べ、上位から4分の1ずつ4つに分け、それぞれを上位からA層、B層、C層、D層の学力層に分けました。
- ◆例えば小学校〔国語B〕のD層に所属する子どもの約30%が普段4時間以上テレビを見ていますと読み取れます。

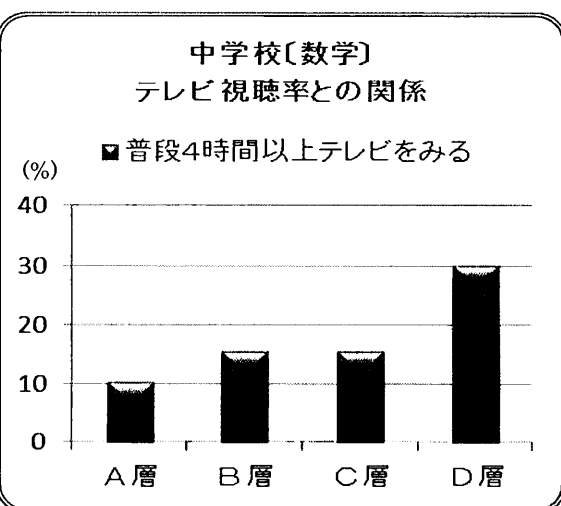
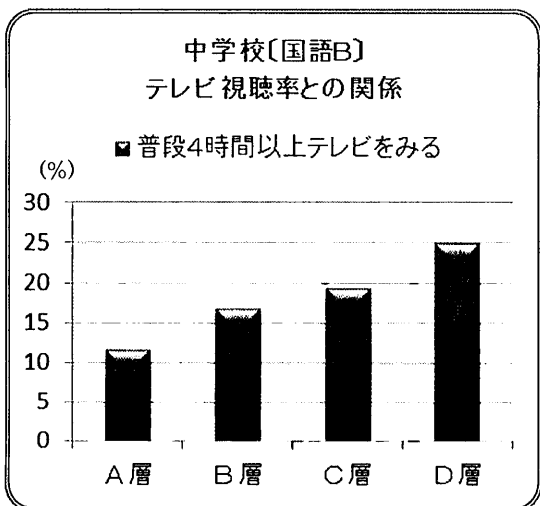
クロス集計とは…

児童生徒質問紙の回答と教科調査の正答率との関係を見るためのもので、今回は今後の課題である「B問題」との関係を取り上げました。

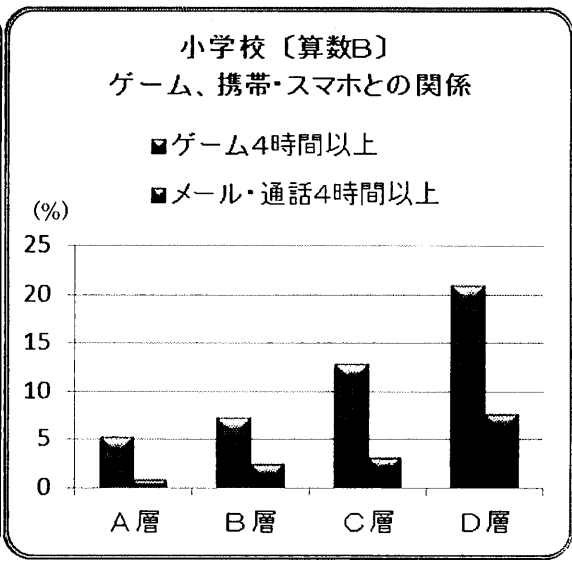
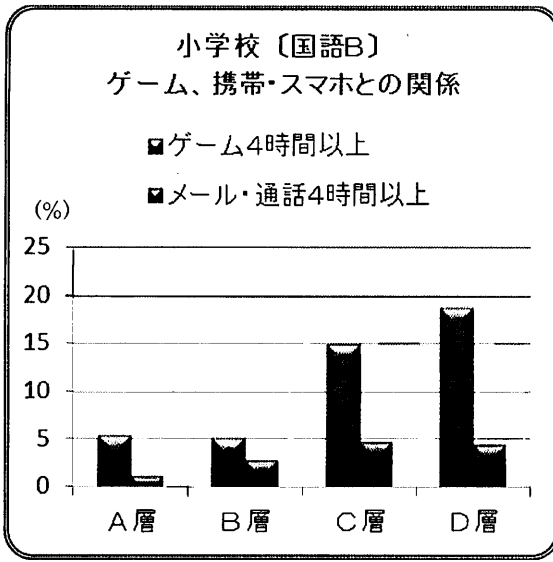
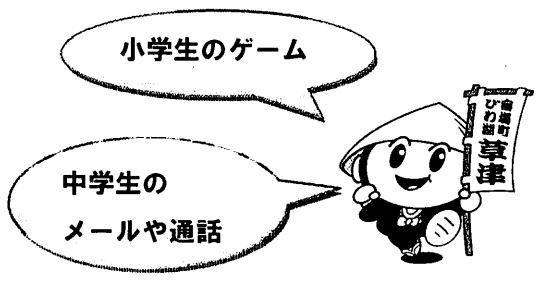


ポイント①

テレビを見る時間が長すぎませんか？

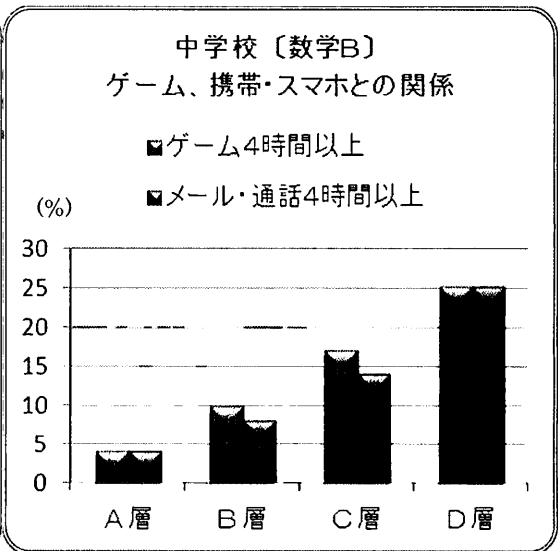
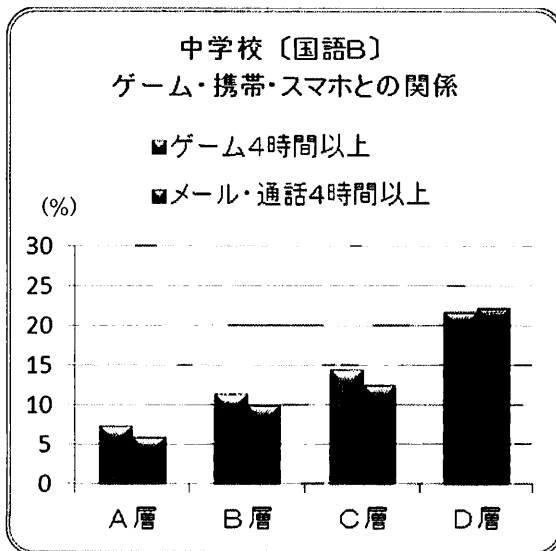


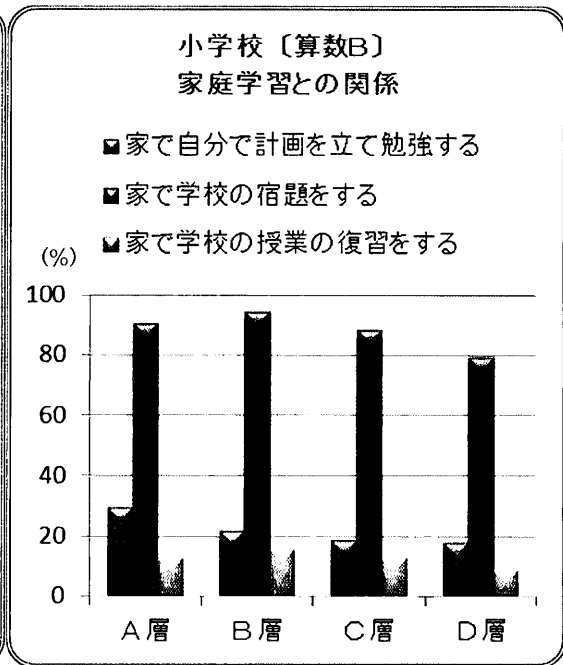
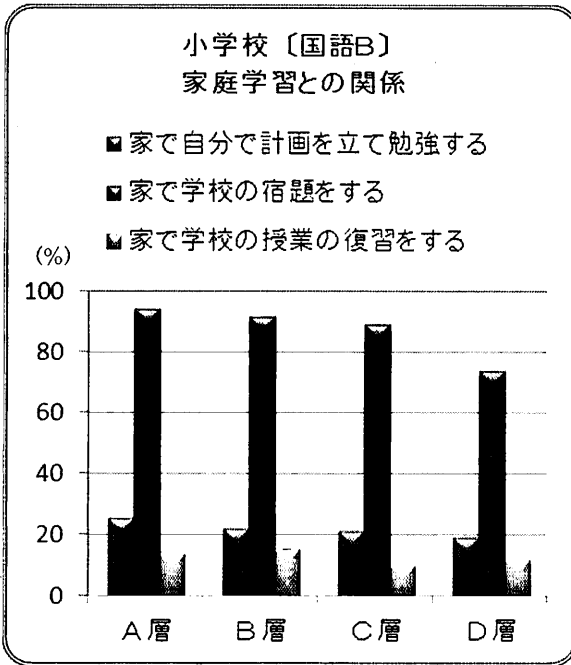
草津市 携帯電話・スマホの所持率
 小学6年生…55.0% (全国 53.7%)
 中学3年生…78.2% (全国 76.5%)



ポイント②

ゲームやネット利用の時間を決めていますか？





ポイント③

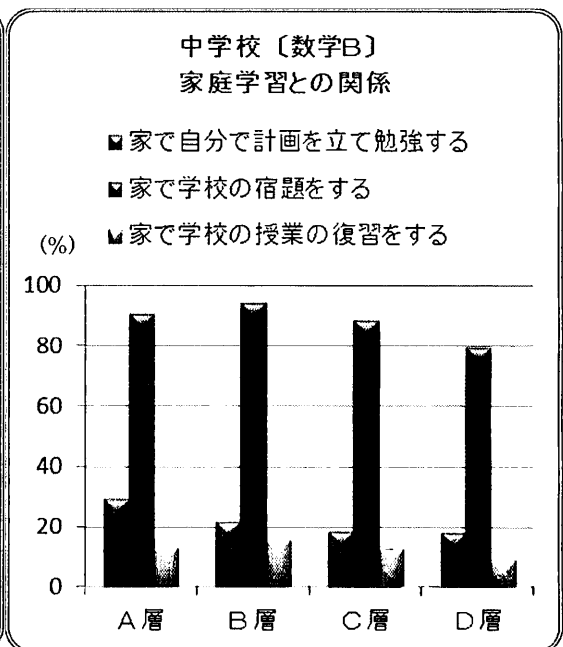
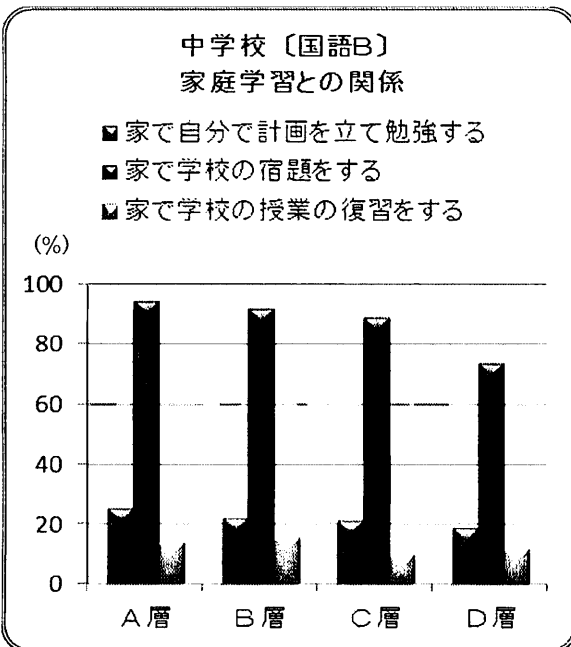
自分で決める

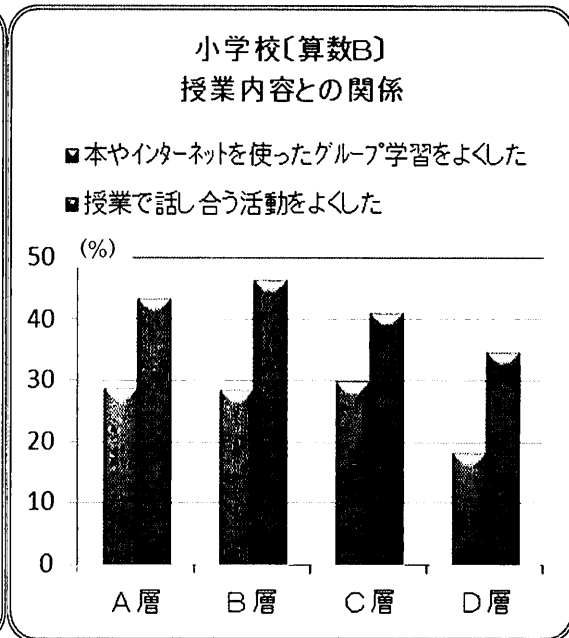
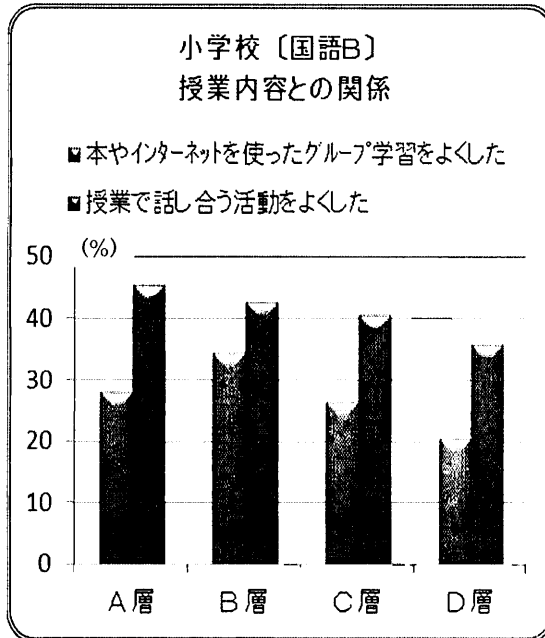
やり方を工夫する

家でしっかり学習していますか？

習慣にする

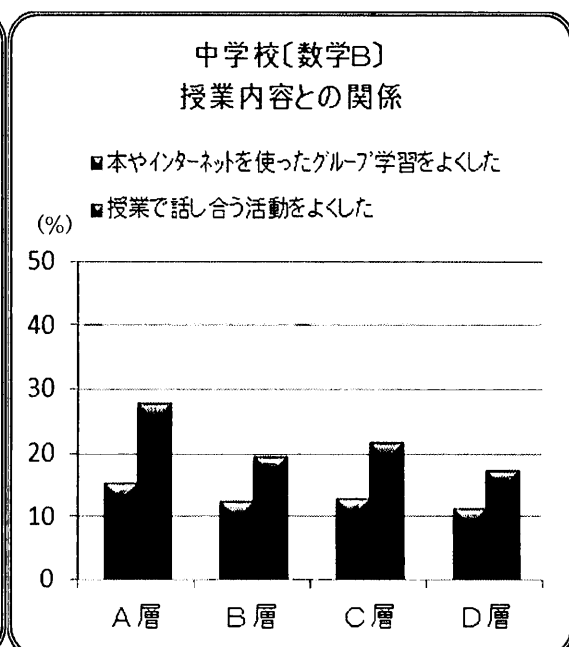
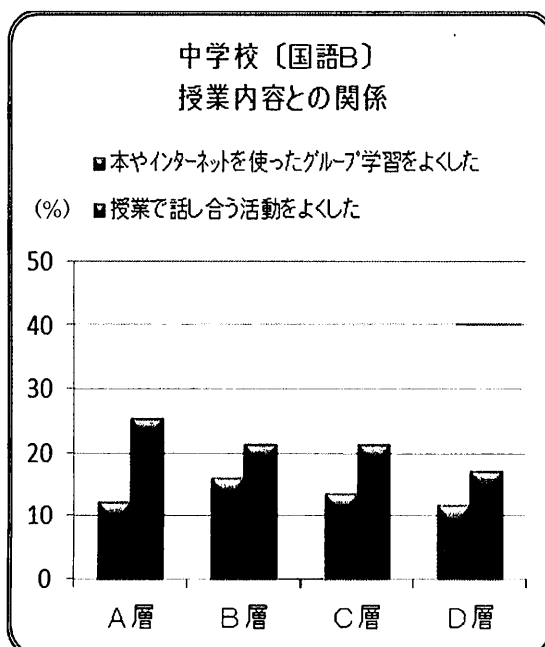
復習ノートを作る





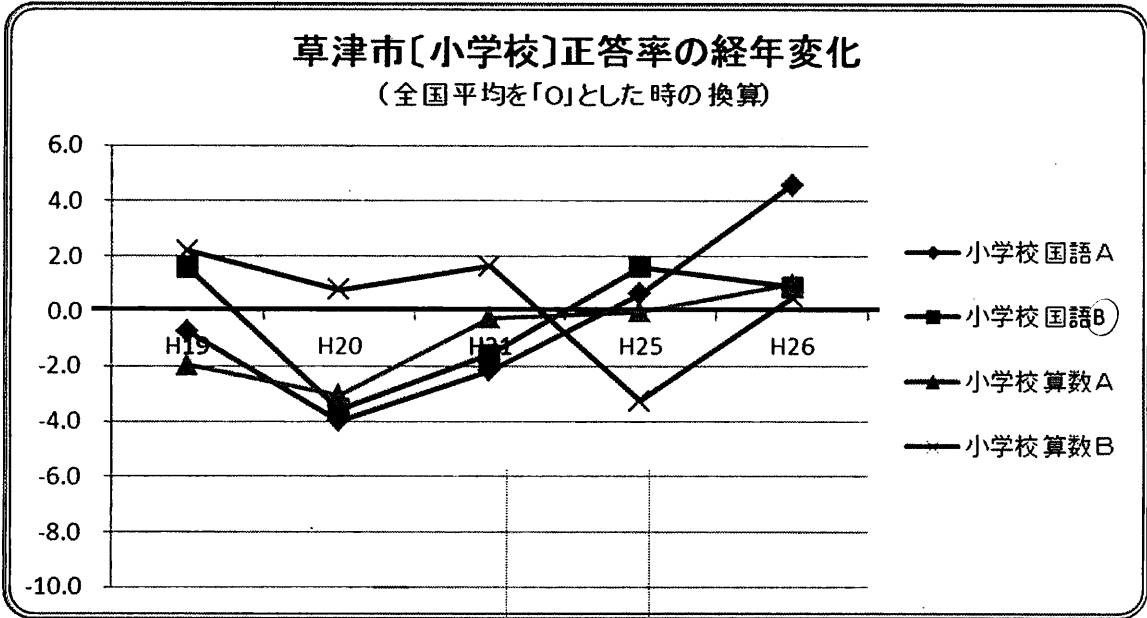
ポイント④

授業で自分の考えを話せていますか？



草津市の学校教育を充実させるための取組との関係

※H22, H24 は、抽出調査のため省いています。また、H23 は東日本大震災のため実施されていません。



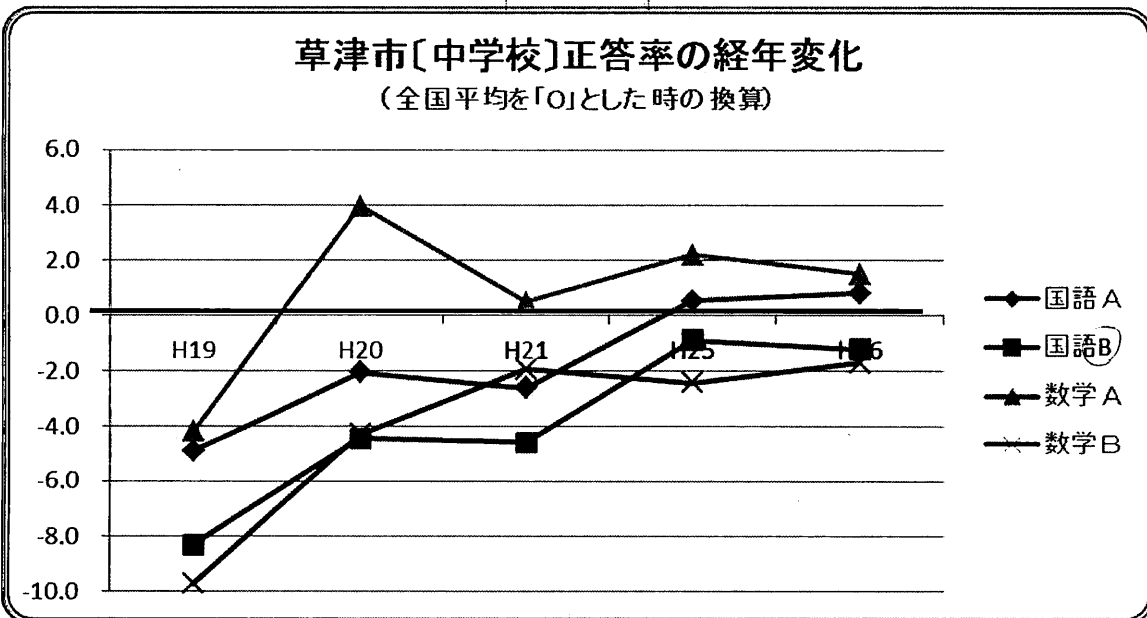
右の矢印は草津市教育委員会における主な事業の実施時期です。

学校 ICT 推進事業 (電子黒板等)

子どもの読書活動推進事業

子どもの思考力育成事業

タブレットPC



考える・交流する・表現する授業



全国学力・学習状況調査の「B問題」のように知識や技能を活用するためには、普段の授業の中で比べたり分類したり、説明したり要約したりする等の思考力が必要です。草津市では思考力を高めるために、平成25年度から小学校5年生を対象に「子どもの思考力育成事業」を実施しています。家庭学習用の問題プリントの各答案に対して添削指導員の先生が一人ひとりに考え方や解き方を丁寧に書きこんでくれます。このことを通して個々の学びを伸ばし、子どもに自信を持たせる指導がなされています。

今後授業では次の3つを大切にします。

●グループ学習の推進

思考力は、友だちとのコミュニケーションの中で自分の意見や考えを発言する機会を通して育まれていきます。子どもたちにとって、グループでの話し合いの時間や調べたことを発信する機会を中心とした授業は非常に大事な役割を果たします。

●タブレットPCの活用

タブレットPCは、グループ活動を行うためのひとつの手段として利用できます。タブレットPCを取り入れた授業をしていくことで、子どもの興味関心が高まり、子どもが主役への授業につながります。

●きめ細かな指導と評価

各学校は、自校の学力課題は何かを丁寧に分析し、その改善のための対策を立てて学校経営に取り組んでいます。「35人学級」や草津市独自の教員の配置等を今後も有効に活用することによって、個に応じたきめ細かな取組や丁寧な評価を行うことが大切です。

学校と家庭との連携



●規則正しい生活習慣

家庭での時間の過ごし方と調査問題の正答率との関係を見ると、小学校ではテレビの視聴時間やゲームをする時間、中学校では携帯電話やスマホでの通話やメールの時間が影響していることがわかります。家族で約束を決め、毎日の起床時刻や就寝時刻が規則正しく行われる生活リズムを定着させることが大切です。

●自分で計画をたてる学習習慣

クロス集計結果によると「家で自分で計画をたてて勉強をする」子どものほうが知識や技能を活用する問題の正答率が高い傾向にあります。1日の授業の復習や明日の予習、漢字検定や英語検定に向けた自主学習等、見通しを持って学習することは、やる気を起こさせ、達成感を得ることにつながります。さらに、家庭学習ノートや復習ノート等を作って、学んだ内容を絵や図を使ってまとめたり自分で問題を作ったり等、学び方の工夫をしながら、めあてを持って計画的に学習する習慣が学習に対する楽しさを育みます。

●続ける秘けつは学校と家庭との連携

学校では「家庭学習の手引き」を作成する等して家庭と連携しながら家庭学習の定着を図ろうとしています。学校、子ども、保護者の三者で「家庭学習のあり方」を共通理解し、学校でも家庭でも子どもの努力を認め応援することが家庭学習を継続させる力になります。

●将来につながる学びの姿勢をつくる

義務教育後も将来にわたって自ら学ぶ機会はたくさんあります。社会に出れば自ら課題をみつけ解決していく姿勢が求められてきます。そんな時に小学校や中学校時の家庭学習が「学びの姿勢」の土台となって活かされます。また、それが「将来を生き抜く力」になっていきます。

寄付受け入れ報告

寄 付 品 目	数量	単価 円	価格 円	住所・氏名 等	寄付 年月日	受納場所
リサイクルトイレットペーパー	5,400	41.04	221,616	京都市下京区烏丸通松原上る薬師前町700 (株)京都銀行	平成26年 10月28日	市内公立 小学校(13校) 中学校(6校)
小計			221,616			
合計			221,616			